

2025年度(令和7年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	75.0	25.0	0.0	0.0
女子	52.9	23.5	17.6	5.9

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	75.0	25.0	0.0	0.0
女子	58.8	41.2	0.0	0.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	62.5	12.5	12.5	12.5
女子	23.5	41.2	35.3	0.0

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	13.13	20.44	28.44	40.38	40.57	9.45	146.89	23.50	52.29
女子	12.38	14.81	37.44	39.19	37.25	9.64	136.13	13.50	51.25

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

・「運動やスポーツをすることがやや嫌い・嫌い」と回答する割合が、20%を超えている。運動に対する苦手意識があり、積極的に体を動かす機会が少なかったり、運動への意欲に個人差があり、日常的な運動習慣が十分に身に付いていないことが運動意欲の低下の原因として考える。

体力面

・男女共に、長座体前屈において、運動パフォーマンス向上に必要な柔軟性が課題である。その要因として、体を大きく伸ばしたり、関節を十分に動かしたりする経験が少ないなど、柔軟性を高める運動習慣が十分に身に付いていないことが考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・記録の優劣ではなく「取り組む姿」「前回からの伸び」を評価する。
- ・成功体験を積んでいけるよう、運動量や課題を選べる活動を設定する。
- ・マットや体づくり運動等の学習と関連付け、柔軟運動を取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・大休憩や昼休憩に、誰でも参加しやすい運動遊びを設定する。
- ・運動委員会による運動朝会を企画する。
- ・地域の社会人野球チームと連携して、運動教室を開く。

2026年度(R8年度)の重点目標値

- ・ボール投げで男女ともに県平均で+1~2mを目指す。
- ・体育以外で週3日以上運動する児童の割合を男女ともに80%以上を目指す。
- ・長座体前屈で、男女共に県平均を上回る。